2/27

反帝戦線

社会主義大学生同盟発行

No.9

2.27.

京大阪大神大市大全関西大学入試を全口総結集で、粉砕し帝国主義大学を実践的に解体せよ！

全市大の先進的、革命的学友諸君！

我々の斗いは、当局の反動的収拾策動にも拘らず進展し、教養部封鎖は2週間近くに迫った。医学部の帝国主義的医療制度再編、病院への資本の論理の貫徹、企業としての経営一元対策、医局講座制への斗いとしてはじまった闘争は、もはや医学部だけにとどまらず大学全体への帝国主義的再編への斗いとして発展しようとしている。しかもかかわらず大学当局は、なんら我々の斗いの意義に答えることなく事態を悪化させるだけである。そして何ら大学の改革を約束しないばかりか、ますます強力な弾圧を用意しつつある。そして何ら現在の帝国主義的再編が、資本の要求に基づいて、ますます無批判的に新入生を入れることは、学の本質を理解せず、我々の斗争に敵対する斗争圧殺の何もものでもない。今や、我々は全国の学園斗争と結合し、この反動的入試強行実施に、全面的に対決し阻止しなければならない。

一二八と安田講堂以降、関西全域の学園斗争にも斗いの烽火が燃え上り、京大阪大神大三全大闘争の計画斗争無期限ストとして拡大激化している。斗いの契機は帝国主義の侵略的再編に対する斗いとして、まずは学生の民主化斗争からはじまったが、今や東大・日大・十大斗争の直面する帝国主義の海外侵略政策及革命の強化に伴う国内再編との対決として、二月末教育学部における学生の帝国主義支配体制完成の斗いへと進展している。学生自治会を中心とする斗いから斗争に支えられ、全学闘争委員会による斗いとして、まずは内包している。五全大闘争大の入試阻止斗争を皮切りに、反革命として登場した日共を含む、松川一当局一日共一右翼との全面対決へと進展している。そしてこの斗いは、3月3日全国国立大一斉校入試阻止としてひきつがれねばならない。関西における国立大一斉校（京大、神大、阪大、市大）の入試阻止斗争は行列斗争の枠をこえ全人民的政治の問題に発展し、獲得に向け全面的な闘争として斗われねばならない。

現在の学生運動は日帝の侵略政策及革命の強化に伴う帝国主義的国内再編、全社会的再編の一環としてある以上帝国主義的大学の再編に対する斗いは全社会的再編に対する斗いと日帝の海外侵略政策及革命への斗い、安保粉砕の斗いとして発展せざるを得ない。帝国主義支配の危機は、日共の裏切りにもかかわらず、ますます深刻化し、国内再編がますます強力に推進されるにつれ、学生の自覚は高まり、自治会の結合はますます強まり、自治会に基づく出撃大会は、ますます高揚しつつある。しかるに日共は、自治会の結合をバイパスし、自治会に基づく出撃大会を圧殺しようとしている。しかるに日共は、自治会の結合をバイパスし、自治会に基づく出撃大会を圧殺しようとしている。

全市大の一定数を入試阻止斗争へ！

あらゆる手段を用いて、全学闘争委員会に結集し、全学闘争委員会に結集し、全学闘争委員会に結集し